

R8地域商業マッチング推進事業 応募アイデア（概要）

No.	アイデアのタイトル	アイデアの概要	提案者	実施希望 商店街	提案者の 所在地
1	AI時代を勝ち抜く商店街戦略	AIでお店を探す人が増える中、商店街の情報を「わかりやすく・魅力的に」伝える仕組みを整え、集客力を高める。 ①ホームページでは、営業時間や特徴などの情報を整理し、AIや検索サービスに正しく伝わる形に改善。また、お店ならではの体験やストーリーを言葉にして発信し、行ってみたいと思わせる内容を強化する。 ②あわせて口コミやSNSでの紹介を増やし、商店街全体の評判を積み上げる。 ③さらに、Instagramの運用セミナー（全3回）を実施し、各店舗が自分で発信できる力を育てる。 これにより、国内外の幅広い層に商店街の魅力が届き、来街者やリピーターの増加につながる。 効果はアクセス数などのデータで確認し、継続的な集客につなげる。	Pastime design works	府内5番街商店街	大分市
2	BEPPU SOAK STUDIO (ベップ・ソーク・スタジオ)	商店街の「昼の空洞化」や「観光客の素通り」といった課題に対し、空き店舗を活用し、観光客が目的を持って立ち寄る体験型コンテンツをつくる事業。 地元アーティストの指導のもと、大分和紙や別府インクなど地域素材を使った制作を行いながら、地酒や食も楽しめる約2時間のプログラムを定期的に提供し、別府の文化を体験として届ける。 観光客の滞在時間と商店街内での消費を生み出すとともに、アーティストの収益機会や空き店舗の活用につなげ、将来的には飲食店や宿泊施設への展開も視野に入れた持続的な事業として展開する。	くるるプロジェクト	別府銀座商店街	別府市

No.	アイデアのタイトル	アイデアの概要	提案者	実施希望 商店街	提案者の 所在地
3	県産酒の認知向上と商店街のにぎわい創出	地域交流と県産品の販路拡大・認知向上を目的に、ダンスや音楽、プロレスといった多彩な企画と県産酒のPRを組み合わせたイベントを通じて、商店街への来街を促進する取組。 子どもや高校生の参加による多世代交流を促進し、商店街のコミュニティ機能の強化につなげる。また、商店街の飲食店が大分県産酒を提供し、酒造会社と連携した統一的なPRやPOP・MAPにより、地域一体となって魅力を発信する。さらに、イベント後も継続販売を行うことで、日常的な消費の定着と売上向上を図る。 商店街関係者が一体となって取り組み、持続的なにぎわいと収益の向上につなげる。	元気会	中津日之出町商店街	中津市
4	商店街を拠点とした地域デジタル交流事業 「まちなかつながり相談室」	高齢者をはじめとした地域住民が安心してデジタルを活用できる環境づくりと、地域内のつながり強化を目的に、商店街内に「まちなかつながり相談室」を設置する。 スマートフォンの使い方や各種サービスの利用について、気軽に相談できる場を継続的に提供し、不安の解消を図る。あわせて、誰でも立ち寄れる交流の場として運営し、来街のきっかけづくりや地域住民同士のつながりの創出につなげる。相談を通じて外出機会を生み出し、商店街の回遊促進にも寄与する。 さらに、店舗へのデジタル活用支援も行い、情報発信力の向上と来店促進を図る。 これらの取組により、商店街のにぎわいと地域コミュニティ機能の強化を目指す。	合同会社OITait	特になし	宇佐市